

# JAみののぶ

7月号



ハスカップ観光農園開園  
北 農園（美唄市豊葦町1区 6月23日）

■発行日/令和6年7月1日/No.1467号

■発 行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編 集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## 園児49人が田植え体験 青年部員が園児に手ほどき

5月29日、JAみねのぶ青年部は、美唄市光珠内町北の吉村惇さんの圃場で、美唄市アカシヤ幼稚園、美唄めぐみ幼稚園、茶志内双葉保育園、進徳保育園の園児49人を対象に田植え体験を行い、「ななつぼし」の苗を約3ヶ手植えしました。

青年部荒井翔悟さんが園児に苗の植え方や圃場での歩き方について説明した後、青年部員が園児に付き添いながら田植えを行いました。園児たちは丁寧に手植え作業を行い、「上手だね！」と褒められて嬉しそうになりました。



ぬかって歩きづらい園児を誘導



慣れると上手です

## ゆめぴりか良質米出荷表彰者 6月常会で表彰

6月3日、6月常会で北海道米の新たなブランド米形成協議会が主催する令和5年産「ゆめぴりか」良質米生産出荷表彰者の受賞式を行いました。



えんじ色認定マグネットを受けた  
上島達也さん、中村呂仁さん、  
八田重忠さん



金色認定マグネットを受けた  
森川雅夫さん、山田政信さん



伊藤組合長から激励を受けた  
久木野実玖さん、渡並航さん、高田圭太さん

上回る生産者として2名が優秀表彰を受け、タンパク値7・4%以下の出荷数量が全道平均値を上回る生産者として3名が優良表彰を受けました。

峰延ブランド米生産組合の吉田彰組合長から優秀表彰者へ金色認定マークのマグネット、優良表彰者へはえんじ色認定マークのマグネットを手渡しました。

今年は豊葦地区の高田圭太さんと光珠内地区の渡並航さん、久木野実玖さんの3人の新規就農者が我がJA組合員の仲間に加わりました。伊藤組合長がJAグループ北海道各連合会などからの激励状やJAからの記念品を手渡しました。

伊藤組合長は「当地域で営農を営む仲間が増えたことを嬉しく思う。多種多様な営農形態があるが、自分に合ったスタイルを見つけてほしい」と激励しました。

## 令和6年度新規就農者3人 6月常会で紹介し激励状贈呈

6月3日、令和6年度の新規就農者激励会をJA本部事務所で開催しました。

JA組合員の仲間に加わりました。

## 令和6年度 新規就農者紹介

- ①農業を志した理由
- ②今後の抱負



たかだけいた  
高田圭太さん (33歳)  
地 区 美唄市豊葦町  
経営主 高田豊さん



くろくわののぞみ  
久木野実玖さん (28歳)  
地 区 美唄市光珠内町  
新 規

しいです。

②野菜と向き合い、野菜に学び、もつと美味しく元気な野菜を作れるように、一步一步勉強していきます。

米は当JAの生産者 浅香邦彦さんが作り、醸造は栗山町にある老舗蔵元、小林酒造に委託しています。新酒は、昨秋に収穫した酒造好適米「彗星」を醸造し、精米歩合45%、アルコール分15%の純米大吟醸酒です。

6月3日、岩見沢市内で42人が参加して新酒発表会を開催、前年産、前々年産と飲み比べを行い、熟成度合いや口当たりの違い等を確認していました。

発表会で、伊藤組合長は「今年も多くの人の力を得て、おいしい酒ができましたので、お楽しみください」と述べました。

①社会人経験を経て、生まれ育つた場所と農業という仕事に改めて魅力を感じた為  
②まずは現状の仕事の流れや技術、作物に対する知識を学び、経営者として引き継げるよう経営を学んでいきたいと思います。

①自分の食べる物を自分で作つてみたいという動機から、野菜作りを始めて、自然の中での試行錯誤に面白さを感じたため。  
②まずは、身近な人に自信を持つて勧められるような、美味しい野菜を作れるように頑張りたいです。

### 当JAの「一圓融合」 新酒販売開始

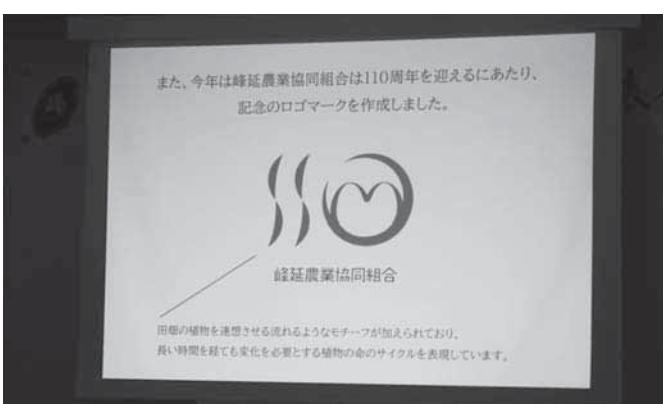


となみ  
渡並  
区  
わたる  
航さん (28歳)  
美唄市光珠内町  
新 規

6月3日、当JA管内で生産している酒造好適米「彗星」を原料とする「一圓融合」の今年の新酒の販売を開始しました。

①きっかけは自分で育てた野菜を食べたときの感動です。たくさんの方に美味しい野菜を食べてもらい、健康で幸せになつてほ

発表会では、スライドによる一圓融合の紹介の他、今年が当JAの110周年を迎えて記念して作成したロゴマークの紹介が行われました。



110周年を記念して作ったロゴマークをスライドで紹介

一圓融合は1本720ml、税込2723円で、当JA店舗等で販売しています。

ポプラ会がサツマイモ苗定植4品種を栽培

6月上旬、青年部ポプラ会の会員宅にてサツマイモ苗の定植作業が行われました。今年は8カ所のポプラ会員の圃場で「紅あずま」「紅はるか」

「安納芋」「シルクスイート」の4品種1100株を手作業で植え付けました。

9月下旬に収穫し、10月上旬頃にJAみねのぶ生活店舗駐車場で販売を予定しています。

加藤会長はシルクスイート150本と安納芋50本を栽培しており前年に続き、給食センターへの販売を予定している。販売での品揃えとして、今年は4品種の栽培に挑戦しており、JAみねのぶ会員みんなで協力してお客様に求められる商品が提供できるように栽培管理に努めたい」と意気込みを語りました。



## 北海道テレビ「イチモニ農園」でJA生産者が特集されました！

北海道テレビ（HTB）の朝の情報番組「イチモニ」内にて放送される「イチモニ農園」で、当JAの生産者が特集されました。

今回の特集では、北海道の新顔野菜として注目を集めている「さつまいも」栽培が取り上げられました。「さつまいも」は、近年その栄養価や美味しさが見直され、北海道でも栽培が広がっています。

6月6日、HTBの田口アナウンサーが当JAの生産者、荒井翔



番組の収録光景



出演の田口アナウンサーと

吾さんの圃場を訪れ、「さつまいもの採苗と定植に挑戦しました。荒井さんは、「さつまいも」栽培のプロフェッショナルとして、その技術と知識を惜しみなく共有し、田口アナウンサーも熱心に取り組んでいました。

この取材の模様は、6月13日に「イチモニ」で放送されました。見逃した方もHTBの公式YouTubeチャンネルで視聴可能です。荒井さんと共に「さつまいも」栽培及び販売に取り組んでいる「みねぼて」メンバー（川端慶也

さん、渡辺勇太さん）も一緒に出演していますので、ぜひ、ご覧いただければと思います。

## 農産物出荷契約推進終える

5月29日から6月10日にかけて、188戸を対象に農産物の出荷契約推進を実施しました。組合員の皆さまにおかれましては、ご多忙のところご対応いただき誠にありがとうございました。本年新たな集荷対策として、JA流通改革米をご案内し、この対策の申込数量は約2万俵となりました。今後も農業所得の向上、出荷負担軽減、集荷施設の効率的な運営に努めてまいりますので、農協への出荷をよろしくお願いいたします。



「イチモニ農園」  
JA生産者特集  
(YouTube)

## ハスカツプ生産組合が生育状況確認で巡回

6月16日、峰延ハスカツプ生産組合が圃場巡回を行い、ハスカツ

## ハスカップ旬到来 前年より1日遅く観光農園開園

本年のハスカップ狩りは、前年より1日遅く、6月23日から6カ所の農園で始まりました。

### 《ハスカップ狩り》

- 時 期…6月23日から約3週間  
(ただし、実が無くなり次第終了します)
  - 開園時間…7時～16時
  - 料 金…入園無料
  - お客様が摘み取ったハスカップ…1,400円/kg
  - 生産者収穫済のハスカップ…2,400円/kg
- 問合せ先：JAみねのぶ販売企画課（☎0126-67-2115）



ドジョウの放流

プの生育状況を確認いたしました。生産組合のメンバーが一堂に会し、今年の出来栄えを詳しくチェックしました。その後、収穫開始時期についての協議が行われ、慎重な検討の結果、6月20日より本年のハスカップの収穫を開始することが決定されました。

また、協議の後には、ハスカップ観光農園部会が開かれ、ハスカップ狩りの開始日について話し合われました。こちらも議論の結果、6月23日より観光農園を開園することが決定されました。ハスカッ

プ狩りは、毎年多くの方々に楽しんでいただいているイベントです。今年も皆様に自然の中で新鮮なハスカップを摘み取る楽しさを体验していただけるよう、準備を進めています。

## 減農薬「土生米」圃場に ドジョウ放流

6月20日、当JAの米づくりを考える会（会長 鈴木孝典）は減農薬のブランド米「土生米」の圃場でのドジョウ放流会を行いました。生産者自らが圃場にドジョウを放流し、ドジョウが生息できる安全・安心な環境で栽培を始めて今年で12年目を迎えます。

放流会は美唄市光珠内町中央の鈴木孝典さんの圃場で行われ、同会の会員や農協関係者ら15人が集まり、ドジョウ約107キロを放流しました。

今年の土生米の作付は8戸で34・4ha、ドジョウは10匹当たり300匹を放流しました。

同会の鈴木会長は「ドジョウが良い作用を与え、豊穣の秋を迎えることに期待したい。安全・安心な栽培環境で育てたお米を、多くの消費者に食べてもらいたい」と意気込みを話しました。

ドジョウは、毎年多くの方々に楽しんでいただいているイベントです。今年も皆様に自然の中で新鮮なハスカップを摘み取る樂しさを体验していただけるよう、準備を進めています。



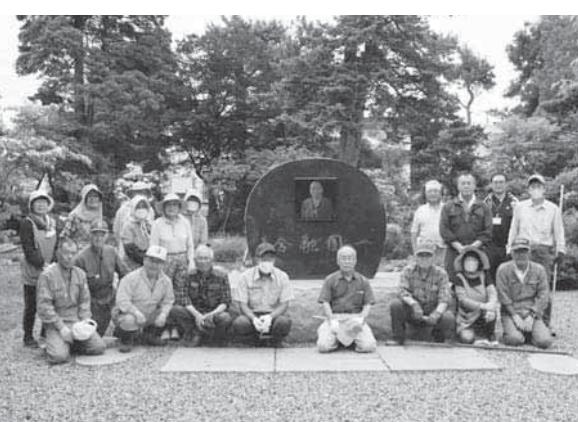
放流会に参加した  
米づくりを考える会の皆さん

川和徳）の皆さんと毎回応援してくれている美助つと俱楽部（代表 前川 隆）の皆さんです。公園内の雑草取りは毎年6月と9月の2回行っています。

雑草取りは、JAから伊藤組合長、高田専務理事と小田室長以下職員3人、協栄会の皆さん8人、美助つと俱楽部の皆さん8人の総勢21人で、午前8時から開始し40分ほどで作業を終えました。

役員OBの皆さんは、久々に顔を合わせてお互いに近況などを話をしながら作業に励んでいました。作業を終えて、森川会長は当日のお札と、秋の雑草取りをお願いしたいと述べていました。

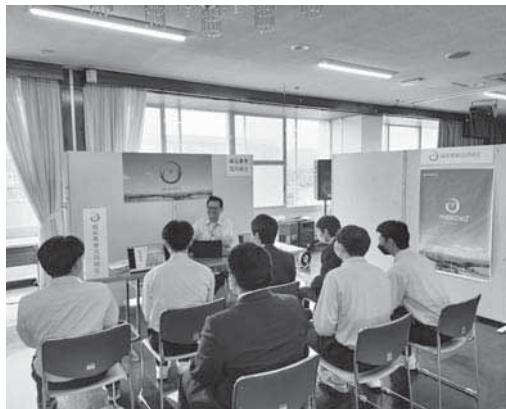
## 「小林篤一翁顕彰公園」の 雑草取りを行う



雑草取りを終えて

6月21日、小林篤一翁顕彰公園内の雑草取りを行いました。雑草取りを行つたのは、当JAの役員OBで構成する協栄会（会長 森

## J Aに興味ある人材を求めて！ 岩見沢の企業説明会、美唄の就職説明会に参加



合同職業説明会で説明する小田室長

当JA職員採用に向けた人材を求めて、6月18日は空知総合振興局が主催する高校生向けの「地元企業合同説明会（34社参加）」に参加、6月20日は美唄市が主催する美唄尚栄高校向けの「合同職業説明会（8社参加）」に参加しました。当JAに興味のある高校生は、美唄は参加生徒30人超のうち14人、岩見沢は参加生徒100人超のうち16人で、JAの概要、業務内容、福利厚生等について説明を行いました。両説明会に出向いた小田統括室長と青木総務課長は、生徒の不安や疑問に丁寧に回答しました。



収穫体験に参加の美唄尚栄高校の皆さん

10名と教諭2名が、JA管内でハスカップ収穫体験を行いました。体験は豊葦地区の佐藤さんの圃場で行われ、佐藤さんの協力のもと、生徒たちは1時間ほどの収穫作業を行い、約10kgのハスカップを収穫しました。収穫を終えた後、生徒たちは1時間ほどの収穫作業を行いました。収穫を終えた後、生徒たちは1時間ほどの収穫作業を行いました。収穫を終えた後、生

## 美唄尚栄高校の生徒 ハスカップ収穫体験

6月23日、美唄尚栄高校の生徒

スカップ収穫体験を行いました。

生徒たちは1時間ほどの収穫作業を行いました。収穫を終えた後、生

徒たちは地域の特産物を身近に感じ、自然の恵みを学ぶ貴重な機会となりました。

## 第5回（6月定例） 理事会開催

6月25日開催の第5回（6月定期）理事会において次の事項が決議されました。

### ◇決議事項◇

1. 信用供与等の最高限度額および貸付金利率の最高限度の設定について
2. 共同計算運営基本事項の制定について
3. 組合員による持分譲渡の承認について

## 報徳 堯の大仁



二宮尊徳翁は、次のように話された。中国の伝説的王堯王は、

おくやみ申し上げます

加藤 照子さん (94歳) 6月8日

中越 勇さん (89歳) 6月22日

岩見沢市北村中小屋

「仁」を最高の哲学として掲げて治世に当たり、豊かな国を築いていた。ところが国民は、次のように歌っていた。

「水が必要な時には、我々で井戸を掘つて飲み、食料が必要な時には、我々で田を耕して作物を作り、食べている。我々は、君主の力は借りていらない。」この歌が、堯の堯たることを、現しているのだ。仁政が行き届いているために、ことさら仁政と感じさせるものが無く、国民がそれを感じないのだ。

孔子が影響を受けた子産という宰相も良い治世を行つたが、孔子は、彼の治世については、仁という言葉は使わず、「恵み深い人」というにとどまつている。

※尊徳翁は、仁を至上のものとしているが、仁というには、国民が仁と感じないほどまで進まなければならぬ、とおしえている。

(夜九五)